

# 仕送り状況申立書

私は次のとおり経済的援助を行っていることに相違ありませんことを申し立てます。

組合員住所 \_\_\_\_\_ 組合員証記号番号 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ 組合員氏名 \_\_\_\_\_

1. 仕送り相手について記入してください。  
※ 同住所に住んでいる認定対象者及び既に被扶養者となっている者の全員を記入してください。

仕送り相手	組合員との続柄	年間収入	円
仕送り相手	組合員との続柄	年間収入	円

2. 仕送りの方法・回数・金額について記入してください。

方法	回数	1回あたりの額	年間の合計額
組合員が認定対象者の口座へ送金	回/年	円/回	円/年
認定対象者の費用（家賃、授業料、光熱費等）を組合員が請求元に支払	回/年	円/回	円/年
その他の送金（ ）	回/年	円/回	円/年
手渡し	回/年	円/回	円/年

3. 組合員以外（兄弟姉妹等）からの仕送りの有無を記入してください。

仕送りの有無	有 ・ 無	有の場合の仕送り額（年額）	円

4. 上記2で送金方法が「手渡し」又は送金回数が「12回/年未満」の場合に記入してください。

送金方法が「手渡し」の理由	
送金回数が「12回/年未満」の理由	

5. 添付した送金確認書類で「①組合員が②認定対象者に対して③いつ④何円」の送金を行っているかを確認できない場合、記入してください。

送金確認書類では確認できない理由
例1) 手渡し 例2) 組合員が仕送り相手の口座に通帳で預金を行い、仕送り相手がキャッシュカードで引き出している。 例3) 組合員の配偶者名義の口座から送金手続を行っている。 例4) 学費の請求先が仕送り相手であるが、組合員が請求元に支払っている。

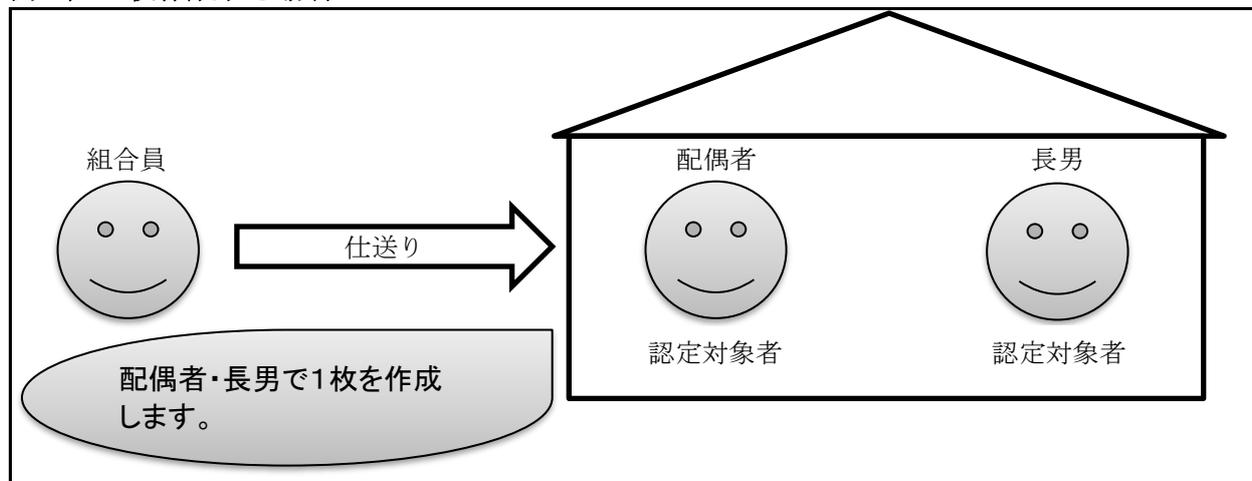
私（私たち）は、平・令 年 月 日から本申立書のとおり経済的援助を受けており、組合員により生計が維持されていることに相違ありません。

仕送り相手住所 \_\_\_\_\_ 仕送り相手氏名 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ 仕送り相手氏名 \_\_\_\_\_

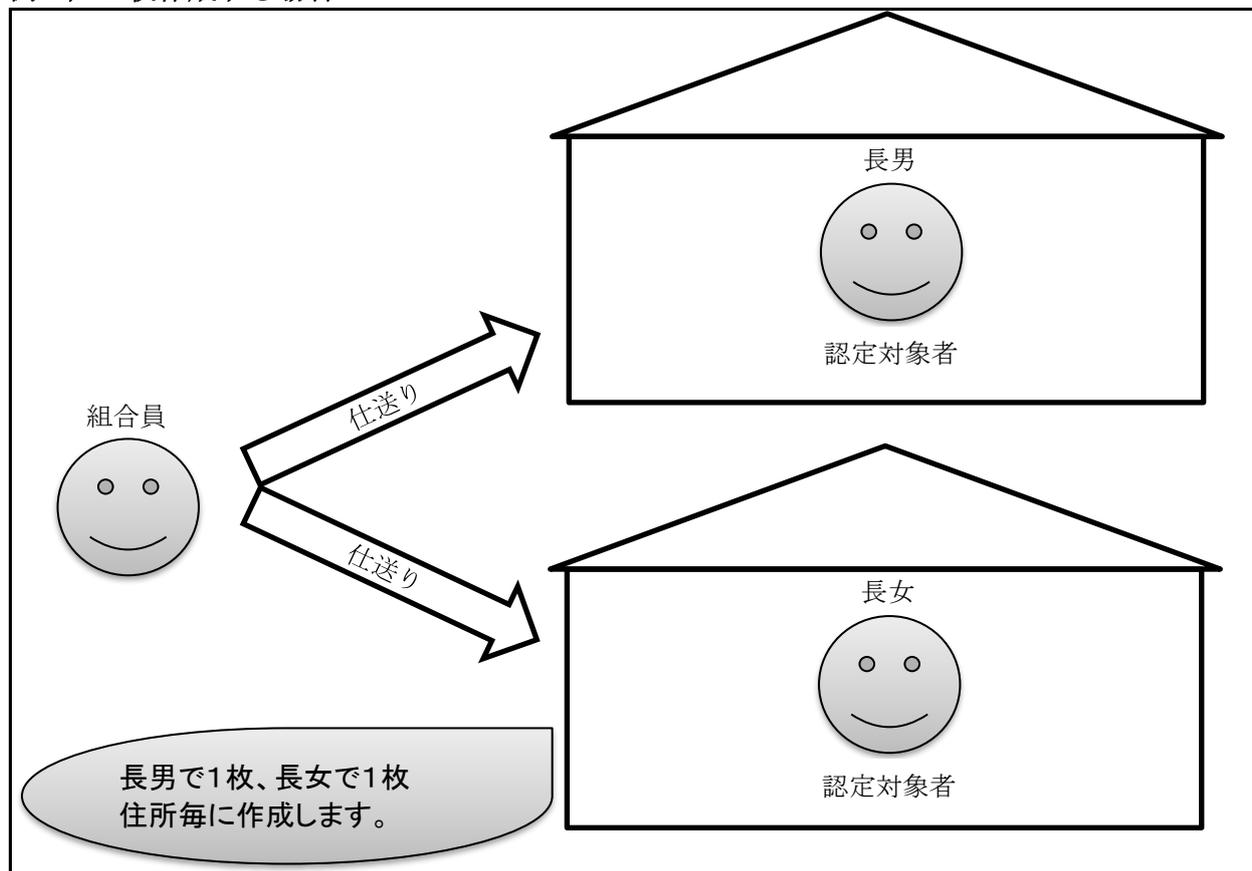
- ◎ この申立書は、送金確認書類と併せて提出してください。  
例：振込受領書（写）、ATM利用明細書（写）等

## 仕送り状況申立書は住所毎に作成してください。

### 例1) 1枚作成する場合



### 例2) 2枚作成する場合



仕送りは原則として、次のすべてを満たしている必要があります。

- ・ 送金による方法であること
- ・ 毎月であること
- ・ 月額5万円以上、かつ、認定対象者全員（既に認定されている被扶養者を含む。）の全収入の2分の1以上の金額であること

◎ 送金確認書類は大切に保管してください（認定後に提出を求める場合があります）